

長老の皆さん、パウロの手本に倣っていきましょう

「「私に倣ってください」。 [コリント第一 11:1](#) キリストに倣っている私に倣ってください。

99 番の歌 数え尽くせない仲間たち

何を学ぶか*私たちは、長老たちが私たちのことを思って一生懸命働いてくれていることに、本当に感謝しています。この記事では、多くの長老たちがぶつかる4つの問題を取り上げます。そして、長老たちがそうした問題に立ち向かう上で、パウロの手本がどのように役立つかを考えます。この記事を学ぶと、私たち全ては長老たちの大変さを知り、長老たちに愛を示して協力したいという気持ちになるでしょう。

1-2. パウロの手本が現代の長老たちにも役立つのはなぜですか。

パウロは、仲間の兄弟姉妹を愛していたので、彼らのために疲れを物ともせずに働きました。（[使徒 20:31](#) ですから、目覚めていなさい。そして、私が3年間、昼も夜も、涙を流して皆さん一人一人を訓戒し続けたことを忘れないでください）それで、仲間から深く愛されました。エフェソスの長老たちが、パウロと会えるのはこれが最後と聞かされて「多くの涙を流し」た、ということもありました。（[使徒 20:37](#) 皆が多くの涙を流し、パウロを抱いて優しく口づけした）現代の熱心に働く長老たちも同じように、仲間の兄弟姉妹を心から愛しています。そして、仲間を助けるために努力を惜しません。（[フィリ 2:16, 17](#) 命の言葉をしっかりとつかんでいます。私はキリストの日に喜べるでしょう。かつて走ったり努力したりしたことが無駄ではなかったと確信できるからです。17 私は、皆さんの信仰による犠牲と聖なる(*人々のための)奉仕の上に、自分が飲み物の捧げ物のように注ぎ出されるとても、そのことをうれしく思い、皆さんと一緒に喜びます）それでも、長老たちも問題にぶつかることがあります。こうした問題に立ち向かう上で、どんなことが役立つでしょうか。

2 パウロの手本について考えることは助けになります。（[コリ 11:1](#) キリストに倣っている私に倣って）パウロは普通の人でした。私たちと同じように完全ではなかったので、良いことを行うために鬪わなければなりませんでした。（[ロマ 7:18-20](#) 私は自分の体の中に、善いものが何もないことを知っています。善いことをしたいと望んではいても、実行できないからです。19 自分が願っている善い事柄は行わず、願っていない悪い事柄をいつも行います。20 それで、願っていないことをやるゆえに、それを実行しているのはもはや私ではなく、私の内にある罪なのです）いろいろな問題にぶつかることもあります。それでも、諦めたり喜びを失ったりすることはありませんでした。長老たちもパウロに倣うなら、問題に立ち向かい、喜びを保ってエホバに仕えることができます。では、どのようにパウロに倣えるでしょうか。

3. この記事では、どんなことを考えますか。

3 この記事では、多くの長老たちがぶつかる4つの問題について考えます。『(1) 伝道と他の責任とのバランスを取る、(2) 時間を取って兄弟姉妹を励ます、(3) 自分の弱さと闘う、(4) 仲間の不完全さに対処する。』①パウロはどのようにして、こうした問題を乗り越えたでしょうか。②長老たちはどのようにパウロの手本に倣うことができますか。

伝道と他の責任とのバランスを取る

4. 長老たちにとって伝道に率先することが大変な場合があるのはどうしてですか。

4 大変な場合があるのはどうしてか。長老たちには、伝道で率先することに加えて、ほかにも多くの責任があります。例えば、多くの長老は、週日の集会の司会や会衆の聖書研究の司会を交代で行います。また、ほかにも話の割り当てを受けることがあるでしょう。援助奉仕者を訓練したり、兄弟姉妹を励ましたりする責任もあります。(ペテー 5:2 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう) そして、王国会館などの神の組織が用いる施設の建設やメンテナンスに参加している長老たちもいます。とはいえ、長老たちも会衆の兄弟姉妹と同じように、伝道を一番大切にするべきです。(マタ 28:19, 20 それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです)

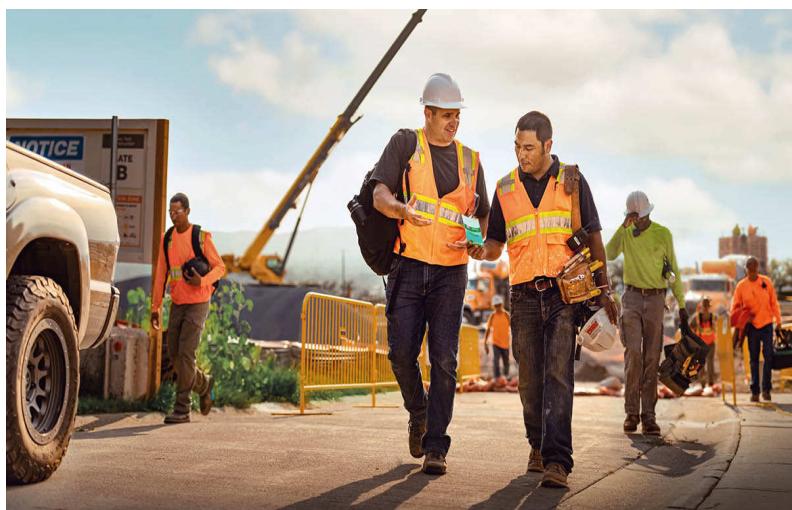
5. パウロは伝道する面でどんな手本を残しましたか。

5 パウロの手本。パウロの成功の鍵は、フィリピ 1 章 10 節皆さんより重要なことを見極めにあります。そこでパウロは、「より重要なことを見極め」るようにと述べています。パウロは、この言葉を自分にも当てはめました。自分に与えられていた伝道するという務めを、何十年にもわたってより重要なことと考えました。それで、「人々の前で、また家から家へと」伝道しました。(使徒 20:20 ためらうことなく、有益なことを何でも皆さんに話し、人々の前で、また家から家へと、皆さんを教え) パウロは、特定の時間帯や特定の曜日にしか伝道しない、ということはありませんでした。話す機会を逃さないようにしていたのです。例えば、アテネで仲間の到着を待っていた時、著名な人たちに良い知らせを伝えました。その結果、幾人かの人は良い反応を示しました。(使徒 17:16, 17 パウロはアテネでシラスとテモテを待っている間に、町の至る所に偶像があるのを見て、いら立つようになった) 17 それで、会堂でユダヤ人や神を崇拜するほかの人たちと、また毎日、広場でそこに居合わせる人たちと論じ始めた、34 パウロに加わって信者となつた人もいた。アレオパゴス裁判所の裁判官デオヌシオ、ダマリスという女性など) また、「拘禁されている」時にも、周りにいる人に伝道しました。(フィリ 1:13, 14 私がリストのために拘禁されていることが、親衛隊の全員とほかのあらゆる人たちに知られるようになっています。14 そして、私が拘禁されていることで、主に従う兄弟たちの大半が確信を持ち、恐れることなく、ますます勇敢に神の言葉を語っています。使徒 28:16-24 私たちがついにローマに入った時、パウロは兵士の監視の下に1人で暮らすことを許可された。17 3日後、パウロはユダヤ人の主立った人たちを招いた。そして皆が集まると、こう言った。「皆さん、兄弟たち、私は、民に背くことや父祖たちの習慣に反することは何もしていなかったのに、エルサレムで囚人とされ、ローマ人に引き渡されました。18 ローマ人は私を取り調べましたが、処刑の根拠が何もなかつたので、釈放しようと思いました。19 ところが、ユダヤ人が反対したので、私はカエサルに上訴するしかありませんでした。)

とはいひ、自分の国民を訴えようとしたのではありません。20 それで、皆さんと会って話したい、とお願ひした次第です。私はイスラエルの希望のためにこうして鎖につながれているのです」。21 その人たちはパウロに言った。「私たちはあなたについてユダヤから手紙を受け取ってはいませんし、そこから来た兄弟たちの誰かが、あなたについて何か悪いことを報告したり話したりしているわけでもありません。22 でも、あなたの考えをあなたから聞くのがいいと思います。この一派については、各地で反対に遭っていることを知っているからです」。23 そこで、パウロと会う日を取り決めて、もっと大勢で宿舎に来た。パウロは朝から晩まで、神の王国について徹底的に教えて説明し、イエスについてモーセの律法と預言者の書の両方から説得しようとした。24 パウロが話したことを信じるようになる人もいれば、信じようとしない人もいた） ⇒斎藤B

6. パウロはどんなことを教えましたか。

6 パウロは時間を上手に使いました。仲間を誘って一緒に宣教を行うことがよくありました。例えば、1回目の宣教旅行の時にはヨハネ・マルコを連れていき、2回目の時にはテモテを連れていきました。（[使徒 12:25](#) バルナバとサウロは、エルサレムで救援の仕事を十分に果たしてから帰途に就き、マルコとも呼ばれるヨハネを連れていった；[16:1-4](#) パウロはデルベに、次いでルステラに着いた。そこにテモテという弟子がいた。信者であるユダヤ人女性の息子で、ギリシャ人の父親を持ち、ルステラとイコニオムの兄弟たちから良い評判を得ていた。3 パウロは、テモテを同行させたいとの願いを述べ、その地域のユダヤ人のために彼に割礼を施した。皆は彼の父親がギリシャ人だと知っていたのである。4 一行は幾つもの町を通って、エルサレムにいる使徒や長老たちが下した決定を守るように伝えた） パウロはこの2人に、会衆をどのように組織するか、兄弟姉妹をどのように励まし、強めるか、どうすれば教える面で成長できるかを一生懸命に教えたことでしょう。（[コリー 4:17](#) そのために、私が愛する（d*愛する子）テモテをそちらへ遣わします。テモテは主に忠実に仕えており、キリスト・イエスに従う私のやり方（*生き方）を皆さんに思い出させるでしょう。私が各地の全ての会衆で教えているやり方です）



パウロに倣って、いつでも伝道できるようにしておく。（7節を参照。）

*写真や挿絵: 1人の兄弟が、仕事を終えて帰る途中に、同僚に良い知らせを伝えている。

7. 長老たちは、[エフェソス 6章 14, 15節](#)のパウロの言葉にどのように従えますか。

7 学べること。長老たちはパウロに倣って、家から家に伝道するだけでなく、あらゆる機会に良い知らせを伝えることができます。（[エフェソス 6:14, 15](#) ですから、しっかり立つため、真理のベルト

を腰に巻き、正義の胸当てを着け、15 平和の良い知らせを伝える用意として履物を履いて(*足に装備を着けて)くださいを読む。) 例えば、**買い物**の時や**職場**にいる時に語ることができます。建設奉仕を行っている場合は、**現場の近所に住んでいる人**や**業者**の人に語ることができるでしょう。また、長老たちは、**一緒に宣教を行う時に援助奉仕者**や**会衆の仲間**を訓練することによっても、**パウロ**に倣えます。

8. 長老は、時にはどんなことをする必要があるかもしませんか。

8 長老たちは、**会衆**や巡回区の務めに忙しくするあまり**伝道**する時間がなくなってしまう、ということがあつてはいけません。時には**バランス**を取るために、何かの割り当てを断らなければならないこともあるでしょう。祈りのうちにじっくり考えた結果、その割り当てを受け入れるならより重要なことを行えなくなる、ということに気付くかもしれません。より重要なことには、**家族の崇拝**を毎週行うことや、**伝道**に熱心に参加することや、**子供たち**が上手に**伝道**を行えるように**訓練**することなどが含まれます。中には、**割り当て**を断るのを難しく感じる人もいるかもしれません。それでも**エホバ**は、**こうした長老たち**がいろいろなことを**バランス**良く行いたいと思っていることを**理解**してくださっています。

時間を取って兄弟姉妹を励ます

9. 忙しい長老にとって、どんなことを行うのは大変な場合がありますか。

9 大変な場合があるのはどうしてか。**エホバ**に仕える人々は、さまざまな**試練**を経験します。今は終わりの時代なので、私たちは**誰もが****励まし**や**支え**や**慰め**を**必要**とします。中には、**間違い**を退ける面で**助け**を**必要**とする人もいるかもしれません。(テサ一 5:14) 兄弟たち、さらに勧めます。秩序を無視する人に警告を与え(*を訓戒し)、気落ちしている人に慰めの言葉を掛け、弱い人を支え、誰に対しても辛抱強くあってください) 確かに、**長老たちは**こうした**試練**を取り除けるわけではありません。それでも**エホバ**は、**長老たち**ができる限りのことを行って、ご自分に**仕えている**人たちを**励まし**、**守ること**を願っています。では、忙しい長老たちは、**そうするため**の**時間をどのようにして見いだせる**でしょうか。



仲間を褒めたり励ましたりする。(10, 12 節を参照。)

*写真や挿絵: 1人の長老が、1人でいることが多い兄弟に優しく話し掛けている。

10. テサロニケ第一2章7節によると、パウロは仲間の兄弟姉妹にどのように接しましたか。

10 パウロの手本。パウロは、仲間の兄弟姉妹を褒めたり励ましたりしたい、といつも思っていました。長老たちがパウロに倣って仲間に優しい愛情を示すのは良いことです。（テサロニケ第一2:7 乳児を優しく世話を(*大切にする)母親のように、穏やかに皆さんに接しましたを読む。）パウロは仲間に對して、自分もエホバもその人たちを愛しているということを伝えました。（コリニ2:4 私は大きな苦難と苦悩の中で、涙ながらに手紙を書きました。皆さんを悲しませたかったのではなく、皆さんへの愛の深さを知つてもらいたかったからです。エフエ2:4, 5 しかし、憐れみ深い神は、私たちを深く愛し、5私たちが過ちのゆえに死んでいた時に、キリストと共に生かしてくださいました。皆さんは惜しみない親切によって救われたのです）パウロは仲間ととても親しくなり、一緒に時間を過ごしました。仲間を信頼していたので、自分の不安や弱さについても正直に話しました。（コリニ7:5 マケドニアに着いてから、私たちは体を休めることができず、あらゆる苦惱をずっと味わっていました。外には戦い、内には恐れがありました。テモニ1:15 キリスト・イエスは罪人を救うために世に来た、という言葉は真実であり、全面的に受け入れるべきものです。私はそのような罪人の中でも最も罪深い者です）でもそれは、自分が抱えている問題に注意を引くためではありませんでした。パウロは、どうすれば仲間を助けられるかということをいつも考えていたのです。

11. パウロが仲間に助言を与えたのはなぜですか。

11 パウロは時折、仲間の兄弟姉妹に助言を与える必要がありました。でも、パウロが助言を与えたのは、いら立ちの気持ちからではありません。仲間を愛し、いろいろな危険から仲間を守りたいと思っていたからです。それでパウロは、自分の助言が分かりやすく、受け入れやすいものになるように努めました。例えば、コリントの会衆に対して手紙で強い助言を与えた後、パウロはテトスをコリントに遣わしました。自分の助言をコリントの兄弟姉妹がどのように受け止めたかを知りたいと思ったからです。パウロは、自分の助言を兄弟姉妹が快く受け入れたことを聞いて、本当にうれしく感じたことでしょう。（コリニ7:(6,)7 テトスがいたことに加え、テトスが皆さんに会つて慰められたのを聞けたことも、神からの慰めでした。皆さんが私に会いたいと思っていること、深く悲しんでいること、私を心から気遣っていることについて、テトスは報告してくれたのです。それで私は一層うれしくなりました

12. 長老たちは仲間を強めるためにどんなことができますか。

12 学べること。長老たちは、仲間と一緒に時間を過ごすことによって、パウロに倣うことができます。そうする1つの方法は、集会に早めに行って、会話で仲間を元気づけることです。短い時間であっても、励みとなることを語ることができます。（ロマ1:12 いえ、むしろ、皆さんの信仰と私の信仰によって励まし合うため。エフエ5:16 時間を有効に使って(*良い時を買い取って)ください。今は悪い時代だから）また、聖書を用いて仲間の信仰を強め、エホバからの愛を感じられるようにすることも大切です。仲間に對する自分の愛や気遣いも表すようにしましょう。小まめに連絡を取り、機会を捉えて褒めることができます。助言を与える必要がある場合には、聖書に基づいて語るようにします。具体的に、そして親切に話すなら、助言は仲間にとて受け入れやすいものとなるでしょう。（ガラ6:1 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチャンとして

十分に資格がある(*聖なる力に導かれている)皆さんは、その人を優しく(*温和な精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください)

自分の弱さと闘う

13. 長老たちは自分の弱さについてどう感じるかもしれませんか。

13 大変な場合があるのはどうしてか。長老も完全ではないので、失敗をすることがあります。（ロマ 3:23 全ての人は罪人(*)になったので、神の栄光に達することができません(*神の栄光を完全には反映できません)）自分の弱さに対してバランスの取れた見方をするのが難しいこともあるでしょう。中には、自分にできないことばかり考えてがっかりする人もいるかもしれませんし、失敗した時にすぐに言い訳をしたり大したことはないと考えたりして、必要な改善を図ろうとしない人もいるかもしれません。

14. フィリピ 4章 13節からすると、パウロが自分の弱さに立ち向かう上で、謙遜はどうのように助けとなりましたか。

14 パウロの手本。パウロは、自分の力だけでは自分の弱さに立ち向かうことができない、ということを謙遜に認めています。エホバからの力が必要だということが分かっていたのです。パウロは、クリスチャンになる前は筋金入りの迫害者でした。しかし後に、自分が間違っていたことを認め、態度や人格を変えるために進んで努力しました。（テモ一 1:12-1614 私たちの主は惜しみない親切をあふれるほど豊かに示してください、私が信仰とキリスト・イエスからの愛を得られるようにしてくださいました。 15 キリスト・イエスは罪人を救うために世に来た、という言葉は真実であり、全面的に受け入れるべきです。私はそのような罪人の中でも最も罪深い者です。 16 それなのに私は憐れみを受けました。それは、キリスト・イエスが最も罪深い私にさえ十分に辛抱強さを示し、そのようにして私を、永遠の命を求めてキリストに信仰を持とうとしている人たちの見本とするため）そして、エホバの助けを得て、愛や同情心にあふれる謙遜な長老になりました。パウロは、自分が完全ではないということを痛いほど理解していました。それでも、自分の失敗のことばかり考えるのではなく、エホバが許してくださることを確信していました。（ロマ 7:21-25私には次の法則が当てはります。正しいことをしたいと願うのに、自分の中に悪がある、ということです。 22 私は、内面では(*内面の人としては)神の律法を本当に喜んでいます。 23 しかし、体(d*器官)の中で別の律法が、考えを導く律法と戦い、私を捕らえて体(d*器官)の中にある罪の律法に従わせているのが分かります。 24 私は実に惨めな人間です！こうして死につつある体から、誰が私を救ってくれるでしょうか。 25 私たちの主イエス・キリストを通して救ってくださる神に感謝します！…）パウロは何でも完璧に行わなければならぬとは考えていませんでした。真剣に努力してクリスチャンとしての人格を磨き、謙遜にエホバに頼って自分に委ねられた務めを行ったのです。（コリー 9:27自分の体を打ちたたき(*処罰し/厳しく訓練し), 奴隸にして従わせます。人々に伝道しておきながら、私自身が何かのことで退けられない(*失格にならない)ためです。フィリピ 4:13力を与えてくださる方のおかげで、私は強くなり、どんなことも乗り越えられます(*行えます)を読む。）



自分の弱さに立ち向かうよう努力する。 (14-15 節を参照。)

*写真や挿絵: 何かのことで腹を立てている兄弟に、別の兄弟がアドバイスをしている。

15. 長老は自分の弱さについてどんなバランスの取れた見方をする必要がありますか。

15 学べること。誰かが長老に任命されるのは、その人が完全だからではありません。でもエホバは、長老たちが自分の間違いを認め、クリスチャンとしての人格を磨いていくことを願っています。 (エフェ 4:23, 24 考え方(*精神的傾向)を新しくする努力を続けましょう。 24 そして、新しい人格を身に着けましょう。その人格は神の意志に沿って形作られる(*創造された)ものであり、本当の正しさと忠実さ(*揺るぎない思い)に基づいています) 長老たちは、聖書を使って自分を分析し、必要な改善を図らなければなりません。そうするなら、喜びつつ長老としての役割を立派に果たせるよう、エホバが助けてくださるでしょう。 (ヤコ 1:25 自由をもたらす完全な律法をじっくり見て守る人は、聞いてすぐに忘れるのではなく、行動します。そのような人は幸せになります)

仲間の不完全さに対処する

16. 長老たちが仲間の欠点に注目するなら、どうなってしまいますか。

16 大変な場合があるのはどうしてか。長老たちは、仲間と親しくなろうと努力するので、そうした人の欠点に気付くことがあるかもしれません。それで、気を付けていないと、長老たちはその人に対していら立ったり批判的になったりするかもしれません。パウロは、仲間のクリスチャンに対して、こうした良くない態度を取るならサタンの思うつぼだ、と警告しました。 (ヨリ二 2:10, 11 何かのことで皆さんのが誰かを許すなら、私もそうします。私がこれまでに許した事柄はどれも（私が何かを許したのであればですが），キリストの前で皆さんのためにしたことです。 11 私たちがサタンに付け込まれない(*だまされない)ようにするためです。私たちはサタンの手口(*策略/意図)を知らないわけではありません)

17. パウロは仲間に對してどんな見方をしましたか。

17 パウロの手本。パウロは仲間に對して前向きな見方を保ちました。仲間が時に失敗することは分かっていましたし、その結果、傷つけられることもありました。それでも、こうした人が失敗するからといって悪い人だというわけではない、ということをよく理解していました。パウロは、仲間のことを愛していて、こうした人たちの良いところに注目しました。誰かが正しいことを

行う面で難しさを感じる時も、そうした人たちの**動機を疑うのではなく**、**助けが必要**なのだと考
えるようにしました。

18. パウロは、ユウォデアとスントケをどのように助けましたか。 ([フィリピ 4:1-3](#))

18 パウロがフィリピ会衆の2人の姉妹をどのように助けたか考えてみましょう。 ([フィリピ 4:1-3](#))

私が愛し、会いたいと願う兄弟たち、皆さんは私にとって喜びの源であり、冠のようです。愛する皆さん、すでに述べたように、主と結ばれてしっかり立ってください。2ユウォデアとスントケに勧めます。**主と結ばれた人**として、**同じ思いを持ってください**。3共に忠実に働く仲間であるあなた(特定の兄弟のことと思われる)にもお願ひします。この女性たちを**今後も援助**してください。2人は、クレメンスやほかの仲間たちと一緒に、良い知らせを広めるために私と肩を並べて一生懸命働いて(*苦闘して)きました。こうした人たちの名前は命の書に記されていますを読む。) ユウォデアとスントケは仲たがいをしていたようです。それでもパウロは、この2人に対して批判的になるのではなく、2人の**良いところに注目**しました。ユウォデアもスントケも、エホバに長年忠実に仕えてきた**姉妹**でした。そしてパウロは、エホバがこの2人を愛していることを知っていました。パウロは2人に対して**前向きな見方**を持っていたので、**仲直りするよう勧め**ました。パウロは、**人の良いところを見るように**していたので、**喜びと**フィリピ会衆の仲間との**強い友情を保つ**ことができました。



批判的にならないようにする。 (19節を参照。)

***写真や挿絵:** 1人の兄弟が清掃の奉仕から気をそらされているが、長老は批判的になっていない。

19. (ア) 長老は、仲間に**前向きな見方**を保つためにどんなことができますか。 (イ) 王国会館の掃除をしている長老の写真から、どんなことを学べますか。

19 **学べること。**長老の皆さん、**兄弟姉妹の良いところを見つける**ようにしましょう。完全な人は一人もいませんが、誰にでも良いところがあります。 ([フィリ 2:3](#) **対抗心を抱いたり、自己中心的になったり**(*うぬぼれたり)してはなりません。**謙遜になり**(*自分を低く見て)、**自分より他の人の方が上だと**考えてください) **正しい考え方**ができるよう兄弟姉妹に**助言**を与えることも、**時には**あるかもしれません。そういう時にも、パウロに倣いましょう。その人の**言葉や行動に**いら立つのではなく、**良いところに注目**します。その人が**エホバを愛**していること、エホバに**忠実に**仕えていること、**正しいこ**

とを行いたいと願っていることなどに目を向けるのは良いことです。長老がこうした見方を持っているなら、会衆の雰囲気はとても温かいものになるでしょう。

パウロの手本に倣っていく

20. パウロの手本に倣っていくために、長老たちはどんなことができますか。

20 長老の皆さん、パウロの手本について学び続けることは助けになります。例えば、「ものの塔出版物索引」の「パウロ」という主な見出しの中にある、「長老のための模範」という項目を調べることができます。そこに挙げられている資料を読んで、次のように考えてみましょう。「パウロの手本は、喜びを保ちつつ長老の務めを果たしていく上で、どのように助けとなるだろうか？」。

21. 長老たちはどんなことを確信できますか。

21 エホバが長老の皆さんに期待しているのは、完璧であることではありません。忠実であることです。（コリー4:2 この点で、管理人に期待されているのは忠実であること）パウロの熱心で忠実な働きは、エホバにとても喜ばれました。エホバは、あなたの働きも高く評価して喜んでくださっています。「皆さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え、今も仕え続けています。そのようにして、神の名を愛していることを示してきました。神は……そうした働きや愛を忘れたりはされません」。（ヘブ6:10 さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え、今も仕え続けています。そのようにして、神の名を愛していることを示してきました。神は不公正な方ではないので、そうした働きや愛を忘れたりはされません）

長老たちにとってどんなことが助けになりますか

I. 伝道と他の責任とのバランスを取るために

・S04（大変な場合がある理由を知る）長老たちには、伝道で率先することに加えて、ほかにも多くの責任がある（集会の司会、援助奉仕者の訓練、兄弟姉妹を励ます、施設の建設やメンテナンスに参加）。それでも伝道を一番大切にするべき

・S05（パウロの手本）パウロは「より重要なことを見極める」ことを自分にも当てはめ、自分に与えられていた伝道するという務めを、何十年にもわたってより重要なことと考えた。

特定の時間帯や特定の曜日にしか伝道しない、ということではなく、話す機会を逃さなかった。

・S06（パウロの手本2）時間を上手に使いました。仲間を誘って一緒に宣教を行い、会衆をどのように組織するか、兄弟姉妹をどのように励まし、強めるか、どうすれば教える面で成長できるかを一生懸命に教えたと考えられる

・S07（学べること）家から家に伝道するだけでなく、あらゆる機会に良い知らせを伝える。買い物の時や職場にいる時にも建設奉仕を行っている場合は、現場の近所に住んでいる人や業者の人と語ることができる。また、長老たちは、一緒に宣教を行う時に援助奉仕者や会衆の仲間を訓練

・S08（バランスを取る）会衆や巡回区の務めに忙しくするあまり伝道する時間がなくなってしまう、ということがあってはならず、何かの割り当てを断らなければならないこともある。

行えなくなつてはならないより重要なことには、家族の崇拜を毎週行うことや、伝道に熱心に参加することや、子供たちが上手に伝道を行えるように訓練することなどが含まれ、エホバは、そうした長老たちがいろいろなことをバランス良く行いたいと思っていることを理解してくださる

II. 時間を取って兄弟姉妹を励ますために

- ・S09 (大変な場合がある理由を知る) エホバに仕える人たちは、さまざまな試練を経験します。今は終わりの時代なので、私たちは誰もが励ましや支えや慰めを必要とします。中には、間違った行いを退ける面で助けを必要とする人もいる。長老たちはそうした試練を取り除けるわけではないが、エホバは、長老たちができる限りのことを行って、ご自分に仕えている人たちを励まし、守ることを願っている。
- ・S10 (パウロの手本) 仲間の兄弟姉妹を褒めたり励ましたりしたい、といつも思っていた。仲間に對して、自分もエホバもその人たちを愛しているということを伝えた。仲間ととても親しくなり、一緒に時間を過ごしました。仲間を信頼していたので、自分の不安や弱さについても正直に話した。どうすれば仲間を助けられるかということをいつも考えていた。
- ・S11 (パウロの手本2) いら立ちの気持ちでなく、仲間を愛し、いろいろな危険から仲間を守りたいと思って、助言を与えた。それで、自分の助言が分かりやすく、受け入れやすいものになるように努めた。
- ・S12 (学べること) 長老たちは、仲間と一緒に時間を過ごす。1つの方法は、集会に早めに行って、会話で仲間を元気づけることです。短い時間であっても、励みとなることを語る。聖書を用いて仲間の信仰を強め、エホバからの愛を感じられるようにすることも大切です。仲間に對する自分の愛や気遣いも表すようにする。小まめに連絡を取り、機会を捉えて褒める。助言を与える必要がある場合には、聖書に基づいて語るようにし、具体的に、親切に話す

III. 仲間の不完全さに対処するために

- ・S16 (大変な場合がある理由を知る) 長老たちは、仲間と親しくなろうと努力するので、そうした人の欠点に気付くことがあるかも。それで、気を付けていないと、その人に対するいら立つたり批判的になったり、良くない態度を取るなら、サタンの策略に騙される危険がある。
- ・S17 (パウロの手本) 仲間に對して前向きな見方を保った。仲間が時に失敗したりして傷つけられることもあったが、だからといって悪い人だという訳ではないことをよく理解していた。仲間のことを愛していて、良いところに注目した。誰かが正しいことを行う面で難しさを感じる時も、動機を疑うのではなく、助けが必要なのだと考えるようになら。
- ・S18 (パウロの手本2) 仲たがいをした二人の姉妹たちに批判的になるのではなく、2人の良いところに注目した。エホバが、この長年忠実に仕えてきた姉妹たち2人を愛していることを知り、前向きな見方を持っていたので、仲直りするよう勧めた。パウロは、人の良いところを見るようにならないので、喜びとフィリピ会衆の仲間との強い友情を保つことができた。
- ・S19 (学べること) 兄弟姉妹の良いところを見つけるようにする。完全な人は一人もいないが、誰にでも良いところがあることを忘れない。正しい考え方ができるよう兄弟姉妹に助言を与える必要があつても、その人の言葉や行動にいら立つのではなく、良いところに注目する。その人がエホバを愛し、エホバに忠実に仕え、正しいことを行いたいと願っていることなどに目を向ける

87 番の歌 爽やかになれる場所

^(コリー 11:1) キリストに倣っている私に倣ってください。

^1節 (使徒 20:31) ですから、目覚めていなさい。そして、私が3年間、昼も夜も、涙を流して皆さん一人一人を訓戒し続けたことを忘れないでください。